

平成27年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	マクロファージによるアポトーシス細胞の貪食と細胞膜の非対称性
研究代表者	長田 重一（大阪大学・免疫学フロンティア研究センター・寄附研究部門教授）
研究期間	平成27年度～平成31年度
審査結果の所見	<p>応募者の細胞膜リン脂質の非対称性を決定するメカニズムの解明についてのこれまでの研究業績は国際的に高い評価を受けている。本研究は、応募者のこれまでの研究で同定された分子群の生理作用を明らかにすることを目的とした質の高い研究であり、その成果は生化学、免疫学の分野のみならず、発生学や癌などの分野にも大きな影響を与えることが期待される。</p> <p>以上の理由により、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p> <p>唯一懸念された点は、これらの分子に関わる構造生物学的研究を実施している CREST との重複である。二つの研究は研究内容の異なる研究として提案されているが、対象とする生体分子が重複しており、両研究間で共有できるリソースが多いと考えられるため、充足率を減じることが適当と判断した。</p>